

まごころだより

2022年 3月号

2月に入り少しずつ春めいて来たかと思う日もありましたが、依然として降雪が続き除雪が必要な時は気が沈んでしまいます。一方コロナは一旦落ち着きを見せたようでしたが、感染力の強さが予想を上回る状況になっています。心配されるのは若年層と高齢者への悪影響が大きいということです。私共の施設には小さな子供を持つ職員も居り、緊張が張り詰めた時もありましたが職員たちの協力のもと何とか乗り越えてきました。現在も緊張をほぐすことなく感染拡大防止策を以前の対策以上の体制をとり対応しています。



“節分”

節分と言うと豆まきですが、今年は衛生面の上で大豆から落花生に変えました。いつもは鬼役がいるのですが、大声が出てしまいますので今年は想像の中だけにさせていただきました。



何だか寂しさも残ってしまった節分でした。

“お誕生日おめでとう”

今日は〇〇さんのお誕生日祝いをしましょうと声をかけると、キョトンとした顔つきで「誰の?」。〇〇さん。貴女のですよ。誕生日を思い出したのか急に明るい表情になり、恥ずかしそうに少女のように微笑まれとても嬉しそうです。

“バレンタインデー”

昔は女性が好意を持つ男性にチョコレートのプレゼントをする日とされていたようですが、今では女性同士に対してとか自分にプレゼントしたり、チョコレートと食べ物に限らない、随分内容が変わってきたようです。



そんなことよりみんなが楽しくそのひと時を分かち合える瞬間がいいのではないのでしょうか。

“風船バレー”

時々ですがテーブルを囲んでみんなで風船バレーをします。コロナ禍でみんなで一緒に何かをする事が少なくなりましたが、この日は久しぶりにしました。普段は体操とカリハビリ様の軽い運動はやりますが、風船バレーは積極性が求められます。動きの速



い物を目で追ったり、程よい力加減で打ち返したりといつもはしない早い動作で風船が下に落ちないようにみんなで繋いでいきます。打ち返す回数を数える事により次第に夢中になって止めようとする人がいません。職員が頃合いをみて止めようと言うと「あ～楽しかった」と明るい感想が聞くことができました。風船一つでこんなにも楽しんでもらえるなんて、風船さん又よろしくお願ひします。